

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスリアン府中緑町		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名 (30世帯)	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもも保護者も安心して利用できている。	子ども一人一人の状態を観察して、楽しく過ごせるように共に遊び、一緒に活動に取り組んでいる。	職員間で子どもの日々の状態を共有し、子どもたちの気持ちを確認しながら、今以上に子どもたちとの関わりを大切にしていける。
2	活動プログラムを工夫している。	子どもたちが楽しめるか、少し頑張ろうと思えるか、出来た時の達成感を持てるのかを考えている。	同じ活動プログラムでも成長に合わせて難易度を変えていく。 子ども自身が選択して頑張って達成感を持てる活動を取り入れていく。
3	保護者とのコミュニケーションを大切に、共に子どもの成長を支えていくことを大事にしている。	保護者には利用時の様子を報告し、褒められたことや注意されたことを共有して、その時の課題があれば一緒に考えている。	より職員間および保護者との連携が出来るように、つながりを大事にしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携不足	近隣の方に事業所のことを知ってもらえていない。地域のイベントには参加しているが、地域の方との関わりは少ない。	積極的にイベントに参加したり、近隣への外出活動を増やして、地域の方との関わる機会を増やしていく。
2	保護者会や家族参加のイベントが少ない。	今年度は家族が参加できる夏祭りを開催したが、平日の参加は少なく、土曜日に来てくださった方も保護者同士のコミュニケーションは少なかった。	家族が参加できるイベントは今後も継続していく。 保護者会を開催したり、気軽に話が出来るお茶会等を開いて保護者同士のコミュニケーションの機会を増やしていきたいが、まずは保護者の意向を確認する。
3	活動内容によってはスペースが不足する。	大きな一つの空間を分けて使うようにしているが、分けていても視覚や聴覚の刺激で集中できないことが多い。また、活動に参加している子どもと遊びながら順番を待っている子どもが混在してしまう。	パーティション等で細かく区切ることによって視覚的には改善するが、職員の見守りの目が届かなくなってしまう懸念があるので、どのように部屋を区切って使用するのが最善であるかを職員間で話し合っていく。